



保育所だより



令和3年9月号
平田保育所
TEL 62-3207

日中はまだ暑い日が続いていますが、朝晩はすっかり過ごしやすくなりました。秋はすぐそこまで来ているようです。

8月の雨が続き、水遊びが楽しくなったり、顔つけができるようになったり、水に浮けるようになったりとできることが増え、気持ちよさそうに水しぶきをあげていました。

これから少しずつ過ごしやすい気候となります。ぞう組は、運動会に向けてどのような競技にしたいのかを相談したり、あこがれていた跳び箱にも挑戦したりしています。今後も、それぞれの年齢に応じた活動を保育士や友だちと一緒に楽しみ、丈夫な体作りをしていきたいと思ひます。そして、運動会が保護者の皆様と子どもたちの成長を喜び合う機会となるように、保育に取り組みたいと考えています。

また、7月に行った「あつまれ げんきっこまつり」から、お祭りごっこやお店屋さんごっこの遊びも続いています。友だちと相談や協力をしてお店を開いたり、お客さんになってお店屋さんを訪れたりして、異年齢の交流の機会にもなっていますよ。

9月は、夏の疲れが出やすい時期です。お子さんが元気に過ごせるよう、引き続き体調管理にご協力いただきますようお願いいたします。



8月の保育の様子

ぞう・ぱんだ・こあら組 プール遊び

ぞう・ぱんだ・こあら組 制作活動

うさぎ組 夏野菜ピザづくり

ひよこ組 絵本の読み聞かせ

りす組 水遊び 楽しいな



9月の行事予定 *印については後日詳しくおたよりします。

- 3日(金) ぞう組・りす組のびのびすくすくの日⑤* わくわくデー【ぱんだ組：楽園クラブ交流】
- 7日(火) 保育所開放日
- 9日(木) わくわくデー【ぱんだ組：楽園クラブ交流】
- 10日(金) 布団持ち帰り
- 13日(月) 身体測定週(～17日)
- 14日(火) 誕生会
- 20日(月) 敬老の日【祝日：休所】
- 21日(火) 集金日
- 22日(水) 弁当の日・運動会リハーサル
- 23日(木) 秋分の日【祝日：休所】
- 24日(金) 布団持ち帰り
- 25日(土) 運動会* 保育所開放日
- 28日(火) 巡回相談日【山田心理相談員来所】
- 29日(水) 避難訓練



ひよこ組 水遊び

10月の行事予定

- 14日(木) 遠足* 弁当の日



お知らせ・お願い

●ズックをはいて登所しましょう
9月から運動遊びをしたり散歩にも出かけたりしますので、ズックをはいて登所しましょう。

●運動会について(25日)
25日(土)に運動会を行います。今年も時間を分けて行う予定です。詳細につきましては、後日おたよりでお知らせします。

来場される前にご家庭で検温をしていただき、体調がすぐれない方は無理をなさらず、参加をご遠慮ください。

●平田中学校職場体験学習について(29・30日)
3年生の生徒が6名来所し、子どもたちと過ごしながらか保育所の仕事を体験します。

ご寄贈ありがとうございました 古布～保護者様

職員出張関係(△は午後からの研修)
13日 保育士等キャリアアップ研修
～岡恭子(15日まで)
△年中児発達相談事業説明会・研修会
～長岡・藤原

*オンラインでの研修も当所において受講しています。

～職員について～
*8/1から、野津睦保育士が育児休業を終えて勤務しています。
*8/16から、中島知香栄養士・菅蒲滝代保育補助が勤務しています。
どうぞ、よろしくお願いいたします。

保育目標～体を動かして遊ぼう

「走る・とぶ・登る・くぐる」など、子どもたちの発達や年齢に合った様々な遊びを体験しながら、体を動かすことの楽しさや心地良さが感じられるような遊びを保育に取り入れていきます。

生活目標～物を大切にしよう

日々の保育の中で、持ち物や玩具の使い方について子どもたちに伝えていきます。自分の持ち物の始末は少しずつ身に付けてきていますが、みんなで使うものも大切にしてほしいと考えています。

また、運動会に向けていろいろな用具や道具を使う機会も増えます。今後も、使い方や片づけについて場面を捉え、伝えていきたいと思ひます。

小さいクラスの子どもたちにも、保育士と一緒に片づけをしながら、玩具や絵本など丁寧に扱う大切さを知らせていきます。

「♥子育て通信♥」～もしものとき、ご家庭で備えをしていますか？～

8月26日に島根県土木部河川課の方に来ていただき、河川氾濫時の避難訓練を行いました。子どもたちは訓練を通して、命を守るためには早めの避難が大切であることや避難の方法等を学びました。昨年のことを覚えている姿もあり、繰り返し学ぶことの大切さを実感しています。

今年は、大雨による警報や避難指示で休所の措置をとったり、保護者の皆様に迎えの依頼をしたりすることがありました。これから台風シーズンになります。ご家庭でも実際に避難をしなくてはならないことが起こるかもしれません。小さなお子さんを連れての避難は、とても大変だと思います。いざというときに困らないよう、すでにご家庭で子どもたちも交えて、避難場所や避難方法を話しておられるかもしれませんね。ご家族で話題にされることで、子どもたちの安全に対する意識を高めることに繋がりますね。

保育所でも、繰り返し「命を守ること」の大切さや方法を避難訓練や保育の中で伝えていきたいと思ひます。

～日ごろからの備え～

- 非常持ち出し品
 - *貴重品 (現金・携帯電話および充電器など)
 - *救急医療品・常備薬 (マスク・消毒液・体温計など)
 - *非常食・飲料水 (缶詰・乾パン・ミルクなど)
 - *生活用品 (ライター・ろうそく・ナイフ・哺乳瓶・紙おむつなど)
 - *衣類 (上着・下着・靴下など)
 - *その他 (携帯ラジオ・懐中電灯・電池・ヘルメット・防災頭巾・携帯トイレなど)

備蓄品 *3日分以上を準備する

詳しくは、「出雲市防災ハザードマップ」に載っています。
○避難場所の確認もしておくとお安心ですね。

保護者の皆様には、お忙しい中「ゆめねっと」のメールによる連絡訓練にご協力いただき、ありがとうございました。